アルゴリズム論特論　(塩田)

—— RSA 暗号の復習 ——

鍵：

- p, q : 大きな素数 (掛けて 1000 ビット程度)
- $n = pq$
- $m = (p-1)(q-1) = \varphi(n)$
- e : m と互いに素な正整数
- $d \equiv \dfrac{1}{e} \pmod{m}$

このうち

- 公開鍵 : e, n
- 秘密鍵 : p, q, m, d

RSA 暗号システム：　$P \xrightarrow{E} C \xrightarrow{D} P$

- 平文の集合 P、暗号文の集合 C はともに

$$P = C = \mathbf{Z}/n\mathbf{Z} = \{\, x \mid 0 \le x \le n-1 \,\}$$

- 暗号化関数 : $E(x) = x^e \ \%\ n$
- 復号化関数 : $D(y) = y^d \ \%\ n$
- 送信者はメッセージ $x \in P$ を $y = E(x)$ に変換して送信する。
- 受信者は暗号文 $y \in C$ を $D(y)$ によって復号する。

- $D(E(x)) = x$ となることは前回確かめた。
- 今日は
  - RSA 暗号の安全性の根拠
  - 使ってはいけない危険な鍵